中區四區

NO.36 平成29年5月発行



U.S.-Japan Friendship Concert in IWAKUNI

IWAKUNI 日米交流合同コンサート







2ページに特集掲載しています。

目 次

- ◆ IWAKUNI日米交流合同コンサート
- ◆ F-35B配備式典
- ◆ 宮澤防衛大臣政務官 岩国市市議会全員協議会
- ◆ 菅官房長官 山口県来訪
- ◆ 第64回藻場干潟調査委員会開催
- ◆ 第28回防衛セミナー(出雲市)

- ◆ 美保基地にC-2配備
- ◆ 第3回艦艇装備研究所岩国海洋環境試験評価 サテライト(仮称)協議会
- ◆ 玖波小学校落成式
- ◆ 前江府町長へ感謝状贈呈
- ◆ 平成28年度新規採用者・平成27年度退職者
- ◆ 玉野防衛事務所紹介



Chugoku-Shikoku Defense Bureau 編集・発行 中国四国防衛局

〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀6-30

Tel 082-223-7109



U.S.-Japan Friendship Concert in IWAKUNI

IWAKUNI 日米交流合同コンサート



このコンサートは、今回で7回目を迎えました。

出演団体は岩国市立麻里布小学校・大竹市立小方中学校・和木町立和木小学校・和木町立和木中学校・周防大島町立島中小学校・米海兵隊岩国航空基地M. C. ペリー・エレメンタリースクール・M. C. ペリー・ハイスクールの生徒総数208名、教員総数19名の総勢227名で開催しました。

開催にあたり、ご支援ご協力頂きました関係者の皆様に、この場をお借りしお礼申し上げます。

米海兵隊岩国航空基地F-35B配備式典 1月20日



1月20日 米海兵隊岩国航空基地においてF-35B配備式典が行われました。

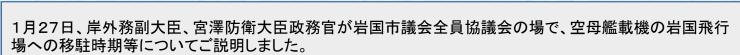
式典に際し、第三海兵遠征軍司令官ニコルソン中将が、F-35Bの部隊の岩国配備について理解を示していただいた岩国市長をはじめ山口県及び近隣自治体の方々に対し、感謝の意を表しました。

F-35Bについて、米側は本年1月に10機を、同年8月に6機を、それぞれ岩国基地に配備することとしています。

岸外務副大臣·宮澤防衛大臣政務官 岩国市市議会全員協議会 1月27日







(移駐計画の概要)

- ・E-2Dは、2月に第5空母航空団の一員として加わり、岩国に飛来し、E-2CからE-2Dに部隊更新する。
- ・E-2Dは、2、3ヶ月程度、岩国飛行場に前方展開し、配備前訓練を実施した後、一旦、空母ロナルド・レーガンに搭載されることになる。
- ・第5空母航空団の厚木飛行場から岩国飛行場への移駐は、2017年後半に開始される予定であるが、早ければ2017年7月以降、空母ロナルド・レーガンが横須賀に寄港する時期になる。
- ・移駐計画は、今後の米側の運用により変更があり得る可能性があるが、現時点における具体的な移駐計画は次のとおり。
- -2017年11月頃、FA-18(スーパーホーネット)の2部隊が岩国飛行場へ移駐
- -2018年1月頃、EA-18Gの部隊及びC-2の部隊が岩国飛行場へ移駐
- -2018年5月頃、FA-18(スーパーホーネット)の2部隊が岩国飛行場へ移駐
- ・空母艦載機の移駐に伴い、軍人約1,700人、軍属約600人、家族約1,500人が岩国飛行場へ移動する 予定。(合計約3,800人)

4

菅 官 房 長 官 山 口 県 岩 国 市 来 訪 2 月 5 日



山口県知事との面談 (山口県岩国総合庁舎)





2月5日、菅官房長官が岩国市を訪れ、山口県知事、 岩国市長等と面談し、また、愛宕山地区に整備を進め ている米側と共同使用予定の野球場などの運動施設 を視察されました。

面談では、官房長官から、沖縄の普天間から岩国への空中給油機の移駐、F-35Bの配備など、抑止力維持と沖縄の基地負担軽減にご理解とご協力をいただいていることに感謝申し上げるとともに、空母艦載機の厚木から岩国への移駐について、ご理解とご協力をお願いしたい旨申し上げました。

これに対して、山口県知事、岩国市長から、空母艦 載機の移駐に関し、改めて、地元の考え方についてご 説明があったほか、地元の実情を十分踏まえ、米軍機 の飛行の安全確保や騒音対策、地域振興策について 要請がありました。

岩国市長との面談後、愛宕山整備事業視察 (いわくに消防防災センター)



5

第64回藻場干潟調査委員会開催2月27日



今回の委員会では、周辺藻場・干潟における環境調査結果(平成28年9月~12月)、藻場・干潟回復モニタリング調査結果(平成28年9月~12月)、平成29年度藻場・干潟回復等調査計画(案)について審議されました。

環境調査では、藻場の面積は平成28年10月調査で約57haとなり、平成16年の台風襲来前の50~60haの水準まで回復していました。

モニタリング調査では、生育基盤整備後、周辺と同様な藻場になることを目標とし、評価時期は生育基盤整備後3年目と5年目を基本として、現在、D区域アマモ場においては4年目となっており、生育基盤目標面積の約5 haに達し、F区域アマモ場においては2年目となっており、生育基盤目標面積の約2 haに達していました。

【審議概要は当局ホームページに掲載しております。】

第28回 防 衛 セミナーIN 出 雲 市 3 月 2 日





第28回 防衛セミナー

平和安全法制について 北朝鮮の政治、外交、軍事

平成29年3月2日(木) 18:00~20:00

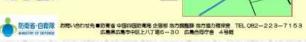
会場: 大社文化プレイス うちら館

住 5: Education His 1838-9 EMD: 6602



■第1部
「平和安全法制について」
内閣を周温家安全保障局 内閣参察官 護浪 学
■第2部
「北朝鮮の政治、外交、軍事」
助表研究所と域研究即アシア・アフリカ研究室
主任研究官 演遣 四
※ 参合により講演者が変更になる場合もあります。

■主催 中国四国的海局 ■後 援 出雲市









第28回防衛セミナーを島根県出雲市「大社文化プレイスうらら館」で開催しました。

第1部「平和安全法制について」、第2部「北朝鮮の政治、外交、軍事」と題して、第1部は、内閣官房国家安全保障局萬浪内閣参事官、第2部は、防衛研究所地域研究部アジア・アフリカ研究室 渡邊主任研究官を講師に招き講演をいただきました。

防衛セミナーの開催を希望される方はご連絡下さい。

航空自衛隊美保基地 C-2配備式典3月30日











式典には境港市長・米子市長・松江市長(代理)・安来市長(代理)を始め約540名の列席されました。 この日、美保基地ではC-2の概要について説明の後、機体内部の見学をしました。







C-2諸元

乗員:2~5人+乗客110人

全長:43.9m 全幅:44.4m 全高:14.2m

最大速度:マッハ約0.82

航続距離:約7,600km(20t積載時)

C-2の訓練に当たっては、安全を第一に、航空機騒音にも配慮を行ってまいりますので、ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

写真提供: 航空自衛隊 美保基地

第3回艦艇装備研究所岩国海洋環境試験評価サテライト(仮称)整備協議会4月10日



第3回協議会が岩国市庁舎で開催され、防衛装備庁から、平成33年度以降の試験評価施設の運用開始に向けて着実に整備を推進していくこと、当局からは、評価試験施設設置の候補地の所有者との間で用地取得に関する交渉を進め、平成29年3月22日に用地取得等の契約を締結したことを説明しました。

玖波小学校落成式 4月16日

















玖波小学校新校舎の整備に当たり、当局は、岩国基地航空機騒音対策の一環として、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律に基づく防衛施設周辺防音事業により、ご協力させていただきました。

- ◆全体計画:平成27年度~平成28年度◆防音工事に係る事業費:70百万円 補助70百万円
- ◆補助率:100%

前 江 府 町 長 へ 局 長 感 謝 状 贈 呈 1 月 2 3 日

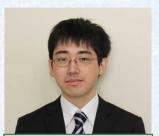




前江府町長 竹内敏朗 様におかれましては、防衛省・自衛隊の活動にご理解とご協力をいただき、防衛施設の安定的使用に貢献されました。

特に、陸上自衛隊における日光演習場使用に対する地元調整にご尽力頂きました。

平成29年度 新規採用者を紹介します。



① 酒井 周平 ② 兵庫県 ③ 総務部 会計課



① 筒井 千裕 ② 高知県 ③ 総務部 契約課



① 鋲賀 弓貴 ② 福岡県 ③ 総務部 契約課



①中谷一智 ②広島県 ③企画部地方調整課



①山崎和人 ②和歌山県 ③企画部周辺環境整備課



①中原弘貴 ②広島県 ③調達部調達計画課



① 稲岡 美咲 ② 兵庫県 ③ 調達部 建築課



① 井上 陽介 ② 東京都 ③ 調達部 建築課



① 角野 智紀 ② 兵庫県 ③ 調達部 建築課



① 近藤 弥生 ② 広島県 ③ 調達部 建築課



① 村元 太一 ② 福岡県 ③ 調達部 土木課



①佐藤政典 ②岡山県 ③調達部設備課



① 谷川 翔太 ② 長崎県 ③ 調達部設備課



① 松浦 弘樹 ② 愛媛県 ③ 調達部設備課

①氏名、②出身 地、③所属

平成29年度4月 1日付けで14名 が新規配属され ました。

平成28年度退職者を紹介します。



梶山 照曉、古田 敏隆、日浦 喜久、菅田 廉、(局長)、杉原 寛治、森島 雅彦、水本 均 (左から順に)









退職された皆様、お疲れ様でした。





中国四国防衛局 玉野防衛事務所を紹介します。



岸壁で、ぎ装工事中です。



今にも動きそうな外観になりましたが・・・

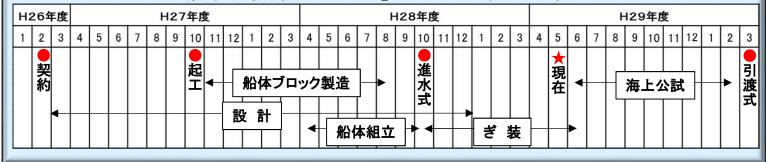


艦内は、まだこの様な状況です。



立会い検査(キッチリと検査しています!)

潜水艦救難艦「ちよだ」(26ASR)建造工程



玉野防衛事務所の主要任務の一つに監督・検査があります。今回は、玉野防衛事務所で監督・ 検査している潜水艦救難艦「ちよだ」の建造状況について紹介します。

潜水艦救難艦「ちよだ」は、三井造船(株)玉野事業所で建造中です。平成28年10月に進水後、 ただ今、ぎ装の真っ最中です。外観は、今にも動きそうなぐらいになりましたが、艦内は、機器搭載、結線、塗装等で、場所によっては、足の踏み場もない状況です。特に電線については、「正しくつながるのか」と心配になるほど、何十本も東ねて区画に引き込まれています。この電線も、結線後の機器の検査で、作動が良好なことを確認しており、ぎ装は順調に進捗しています。

6月からは、海上公試(海上航走により、艦の性能を検査する。)を行い、平成30年3月に引渡 し予定です。 業務紹介(第3回)は都合により次号に掲載の予定です。